



2026年6月発行

文責 にじいろこどもクリニック 院長 相澤知美

こんにちは。特定の感染症の流行が無く、比較的平和な状況が続いています。溶連菌、ヒトメタニューモウイルスが一部で出ています。手足口病は弘前以外の地域の方でいらっしゃいましたが、6月末の時点では弘前市内はまだ流行していないようです。

虫刺されの方が増えてきました。腫れや痒みが強い場合は受診して下さい。また、掻き壊して細菌感染を起こさないように気を付けて下さい。

07 2026 JULY



MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
		1	2 17:00 まで	3	4	5
6	7 17:00 まで	8	9 休診	10 17:00 まで	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24 17:00 まで	25	26
27	28	29	30	31		

## RSウイルスの予防接種について

RSウイルス感染症は発熱、咳嗽、鼻水を認める風邪のウイルスの一つですが、0~1歳の初感染時に重症化することがあります。気管支炎、肺炎となり喘鳴や呼吸困難を認めて入院する方もいらっしゃいますし、治った後も喘鳴を繰り返して気管支喘息へ移行してしまうことがあります。RSウイルス感染症で大変な思いをした親御さんも沢山いらっしゃると思います。

これまで、RSウイルスの予防接種は、早産児や心臓や肺に基礎疾患がある子に限られていました。小児への接種はこれまで通りで変わりありませんが、2026年4月より妊婦さんへのRSウイルスワクチンの定期接種（無料）が開始されました。母体で作られた抗体が、胎盤を通過して赤ちゃんへ移行するので、出生時から抗体を持っていることとなります。このワクチンの効果で、RSウイルス感染症の重症化や、その後の気管支喘息の発症が減少することが期待されます。任意接種（有料）ではありますが、60歳以上の方へ接種できるRSウイルスワクチンもあります。

小児の接種は、通常出生した病院で行われています。また、成人の接種についてはかかりつけの病院でご確認下さい。



## < 感染症発生数 >



	6/1 ~6	6/8 ~13	6/15 ~20	6/22 ~27
インフルエンザ	0	0	0	0
新型コロナウイルス	0	0	0	0
溶連菌	5	5	3	7
アデノウイルス	0	1	1	0
マイコプラズマ	0	1	0	0
RSウイルス	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	3	4	1

その他、胃腸炎（アデノ・ノロウイルス）の方がいらっしゃいました。手足口病が1人いらっしゃいましたが、まだ増えていません。ヒトメタニューモウイルスが流行していた保育園もありましたが、大流行には至っていません。